認証番号0003220

エコアクション21
環境経営レポート

（令和　6年　9 月　～ 令和　7年　8 月）

撮影者　(株)アースシフト職員　平野　哲也　**撮影地**　静岡市　葵区　梅ヶ島　地内

発行日　令和7年10月31日

株式会社 アースシフト

目　　次

1. 組織の概要　P … 1
（事業所名、所在地、事業の概要、事業規模等）

2. 対象範囲（認証・登録範囲）　P … 2
レポートの対象期間及び発行日

3. 環境方針　P … 3

4. 環境目標　P … 4

5. 環境活動計画　P … 5

6. 環境目標の実績　P … 6

7. 環境活動計画の取組結果とその評価、　P … 7
次年度の取組内容

8. (株)BELL　SHIFT　P … 8
環境経営目標の実績
環境経営活動計画・取組結果と評価
令和5年度創意工夫・イメージアップ

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認　P … 9
及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

10. 代表者による全体評価と見直しの結果　P … 10

1. 組織の概要

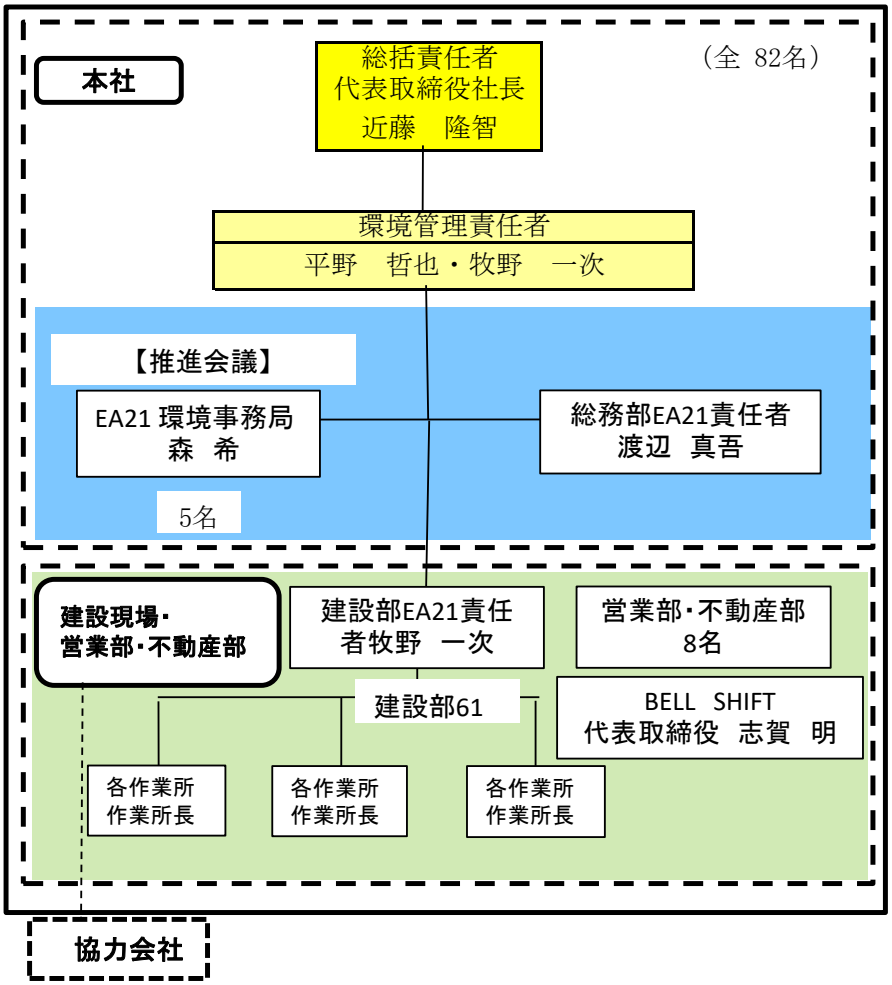
【事業所名 及び代表者氏名】	株式会社　アースシフト 代表取締役　近　藤　　隆　智
【 所 在 地 】	（　本 社　）〒421-1213　静岡県静岡市葵区山崎２丁目17-16 （資機材置場〒421-1223　静岡県静岡市葵区慈悲尾字川東156番-1 （　〃　）〒421-1213　静岡県静岡市葵区山崎２丁目14-14 （　〃　）〒421-2115　静岡県静岡市葵区与左衛門新田33-4 （(株)BELL SHIFT）　〒410-0048　沼津市新宿町9-6
電　話　番　号	054-278-8309
Ｆ　Ａ　Ｘ　番　号	054-278-8498
ホ ー ム ペ ー ジ	http://www.earth-shift.co.jp
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ	ken@earth-shift.co.jp
環境管理責任者	連絡先　建設部 牧野　一次
【事業の概要】	総合建設業 総合建設業（土木、建築、ほ装、水道施設、管、塗装、造園、防水、鋼構造物、とび・土工、しゅんせつ、石、解体）、瓦リサイクル舗装材の販売、不動産取引業、光触媒コーティング工事、地下シェルターの製造・販売、建設発生土受入れ事業、測量、非破壊検査、橋梁の点検、橋梁の補修・設計に関するコンサルタント
創　　立 資　本　金 従　業　員 売　上　高	昭和 58年　8月　　設　立　昭和 60年　8月 3,000万円 77名 241,555万円　（令和6年9月～令和7年8月）
建 設 業 登 録	静岡県知事許可番号（特-２）第２３１３６号 許可の有効年月日　　令和12年8月30日
不 動 産 登 録	静岡県知事許可番号（２）第１２４３３号 許可の有効年月日　　令和12年5月21日
産 業 廃 棄 物 収 集 運 搬 業	静岡県番号　第２２０１０５３５４２号 許可の有効年月日　　令和11年12月13日 （許可取得後、収集運搬業としての実績はありません。）
事　業　年　度	9月 1日　起算　　翌年　8月 31日　決算
取　　引　　先	中部地方整備局　　静岡県土木事務所 中部農林事務所　　静岡市役所　他
認証・登録の 対象範囲	全組織・全活動

【事業の規模】

活動規模	4年度	5年度	6年度
売上高	2,272百万円	2,575百万円	2,415百万円
従業員	66名	75名	77名
床面積	456㎡	456㎡	456㎡
敷地面積	345㎡	345㎡	345㎡

２．【実施体制】

2025/10/30現在



職　名	主な責任と権限
総括責任者	・環境方針を定める。 ・EA21の実施に必要な人材、財務、設備等の用意。 ・環境管理責任者の任命。 ・環境経営システム全体の評価と見直しの指示。 ・経営における課題とチャンスの明確化。
環境管理責任者	・環境経営システムの総責任者として必要な権限を持つ。 ・システム全体計画の立案。 ・システムの構築、運用状況の状況報告。 ・環境関連の外部ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝの窓口。 ・環境活動レポートの作成 ・一般教育の実施。
EA21環境事務局	・システム運用上の事務管理全般。 ・環境活動実施計画の実績集計。 ・一般教育の実施。 ・環境管理責任者への支援 ・推進会議の開催と取りまとめ(部所責任者出席)
部署責任者	・部署における環境経営システムの実施と確認。 ・部署内の教育訓練の実施。 ・部署内の問題点の発見及び、是正予防処置。 ・部署内の緊急事態への準備及び対応。
全社員及び建設現場	・環境経営システムの遵守 ・自主的、積極的に環境活動に参加。 ・協力会社への指導 ・取組み状況の報告

３．　【　環境経営方針　】

【　基　本　理　念　】

株式会社　アースシフトは、「環境保全への取組み」のもと、建設業としての事業活動が、地球規模の環境及び地域の環境に関わりが強いことを認識し、当社が環境を重視したいろいろなｻｰﾋﾞｽを行うことで、環境と調和した持続可能な循環型社会をめざした活動を推進することを理念とする。

【　行　動　指　針　】

当社の環境に関する活動は、以下のものとする。

1 省エネルギー、省資源を心がけ、Co2排出削減に努める。
2 建設活動から排出される「廃棄物を減量する活動」
3 環境に配慮した工法等の推進や、資材の調達に努めます。
4 経営における課題とチャンスを踏まえる

本環境方針を達成するために、以下のことを実行する。

1 地球温暖化防止のための「環境負荷を低減する活動」
2 自然環境をまもる「生態系保全活動」
3 環境保全、修復及び汚染の予防に配置した建設活動の推進
4 関連する環境の法規制、及び地域、近隣との協定の順守
5 環境目的及び達成のための環境実施計画の策定と環境マネジメントシステムの継続的改善への取組み
6 建設廃棄物をリサイクルする活動の推進
7 事務所及び、建設現場においての節水活動、グリーン購入活動の推進
8 SDG s を意識した活動に取り組む。

当社は、本環境方針を実行、維持し、全従業員及び作業所の協力会社社員に周知すると共に、社外の要求に応じ公表する。

改訂④ 令和6年7月1日
制定　 平成18年4月1日

所在地　静岡県静岡市葵区　山崎２丁目１７番地の１６
名　称　株式会社　アースシフト
代表取締役　近藤　隆智

（株）アースシフト

4. 【 環境経営目標 】

年　　度	3年度	4年度	5年度	6年度
完 工 高	2,230百万円	2,272百万円	2,575百万円	2,415百万円

【 6年度　目標値 】

項　　目	単位	基準値 （ R5年度 ） R5. 9～R6. 8（12ヶ月） 実　績	完工高当り	6年度（R6. 9～R7. 8） 目　標（完工高当り）	
ニ酸化炭素排出量	kg-CO_2/年	305,552	118.66	117.47	-1%
購入電力量	kWh/年	25,179	9.78	9.68	-1%
ガソリン	L/年	34,239	13.30	13.16	-1%
軽油	L/年	82,587	32.07	31.75	-1%
コピー用紙使用量	枚/年	609,378	236.65	234.29	-1%
一般廃棄物等総排出量	kg/年	2,100	0.82	0.81	-1%
産業廃棄物等総排出量	t/年	5,565	2.16	2.14	-1%
水使用量		節水に努める			
再資源化率	%	99.9	－	99.9	－
低騒音、低排出重機	台	20	－	20	－

※ 購入電力の排出係数=0.518(kg-CO_2/kWh)(平成23年中部電力実績調整後を使用)
※ 完工高当りの使用量は、百万円当りとします。
※ 事業所に太陽光発電を設置していますが、購入電力量と分けています。
※ 化学物質の使用はありません。

【 新中期　目標値 】

項　　目	単位	基準値 （ R6年度 ） （R6. 9～R7. 8） 実　績	完工高当り	7年度（R7. 9～R8. 8） 目標（完工高当り）		8年度（R8. 9～R9. 8） 目標（完工高当り）	
ニ酸化炭素排出量	kg-CO_2/年	906,719	375.45	371.70	-1%	367.94	-2%
購入電力量	kWh/年	140,460	58.16	57.58	-1%	57.00	-2%
ガソリン	L/年	64,028	26.51	26.25	-1%	25.98	-2%
軽油	L/年	265,665	110.01	108.91	-1%	107.81	-2%
コピー用紙使用量	枚/年	653,799	270.72	268.02	-1%	265.31	-2%
一般廃棄物等総排出量	t/年	2,100	0.87	0.86	-1%	0.85	-2%
産業廃棄物等総排出量	t/年	4,347	1.80	1.78	-1%	1.76	-2%
水使用量	L/年	節水に努める					
グリーン購入	購入割合	0.09		0.10	10%	0.11	11%
再資源化率	%	98.7	－	100.0	－	100.0	－
低騒音、低排出重機	台	20.0	－	20.0	－	20.0	－

節水活動は行います。

5. 【 環境経営目標の実績 】

6年度の環境目標の実績は以下のとおりです。

年　　度	22年度	4年度	5年度	6年度
完 工 高	790百万円	2272百万円	2575百万円	2415百万円

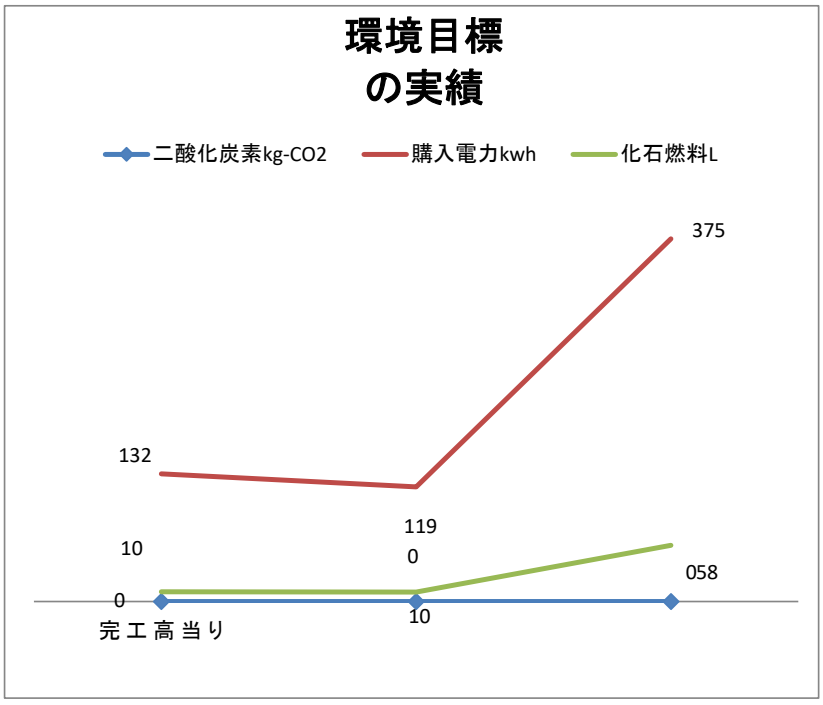
【 6年度　実績 】

項　　目	単位	6年度目標値 R6. 9～R7. 8（12ヶ月） 完工高当り	目標値 (R5年度比)	6年度実績 R6. 9～R7. 8（12ヶ月） 実　績	完工高当り	目標値との比較	達成度	比較 (前年度)
二酸化炭素排出量	kg-CO_2/年	117.47	−1%	906,719	375.45	320%	×	×
購入電力量	kWh/年	9.68	−1%	140,460	58.16	601%	×	×
ガソリン	L/年	13.16	−1%	64,028	26.51	201%	×	×
軽油	L/年	31.75	−1%	265,665	110.01	346%	×	×
コピー用紙使用量	枚/年	234.29	−1%	653,799	270.72	116%	×	×
一般廃棄物排出量	kg/年	0.81	±0	2,100	0.87	107%	×	×
産業廃棄物排出量	t/年	2.14	±0	4,347	1.80	84%	○	○
水使用量	L/年	節水に努める						
再資源化率	%	99.9	±0%	98.7	±0	99%	×	×
低騒音、低排出重機	台	20	±0	22	−	+2台	○	○

※ 完工高当りの使用量は、百万円当りとします。

環境への負荷の取りまとめ表

環境への負荷	単位	4年	5年	6年	完工高当り 4年	5年	6年
二酸化炭素	kg-CO_2	300,158	305,552	906,719	132	119	375
購入電力	kwh	22,696	25,179	140,460	10	10	58
化石燃料	L	116,434	116,826	329,693	51	45	137



６．【環境経営目標の取組結果とその評価】

1）　令和6年9月から令和7年8月までの目標の実績評価

項　　目	結　果	評　　価
二酸化炭素排出量	×	本年度より、CO2算定システム「アスエネ」の導入に伴い、算定範囲を弊社名義の全エネルギー使用量に拡大した。この変更により前年度との単純比較は困難だが、現状の使用量を社内で共有し、着実な削減活動を推進して行きたい。
購入電力量	×	本年度より、CO2算定システム「アスエネ」の導入に伴い、算定範囲を弊社名義の全エネルギー使用量に拡大した。いままで算出が難しかった現場での購入電力も集計ができるようになったので購入電力量が大幅に増加している。
ガソリン	×	算定範囲を弊社名義の全エネルギー使用量に拡大した事により増加傾向にある。売り上げの増加に比例して増加することは致し方ないが現状を周知し、少しでも削減できるよう努めたい。
軽油	×	ガソリン同様、算定範囲を弊社名義の全エネルギー使用量に拡大した事により増加傾向にある。売り上げの増加に比例して増加することは致し方ないが現状を周知し、少しでも削減できるよう努めたい。
コピー用紙使用量	×	近年、電子での納品は浸透してきたが、やはり紙媒体での確認、保管が必要な書類がある事も事実である。電子化する前の確認を紙媒体で行う事によりケアレスミスが軽減する事もあるので、電子化が進んでも紙媒体の重要性に頼らなければならないと思う。
産業廃棄物総排出量	○	公共工事の受注状況により変動するが、適切な廃棄が行われているのが確認出来ているので、今後も続けて行きたい。
水使用量	節水に努める	
社会活動参加	○	事業規模の拡大に伴う業務の増加により、社会貢献活動への参加機会は一時的に減少傾向にあるが、地域社会との共生は当社の経営理念の根幹を成すものである。今後は、業務効率の向上を図りながら、地域に根ざした企業市民としての責務を果たすべく、清掃活動や環境保全活動などの社会貢献活動により一層、取組んで行きたい。
低騒音、 低排出重機	○	20台の導入目標に対し、計画的な機材配備の取り組みにより、目標を上回る22台の導入を達成した。この実績は、当社の環境に配慮した施工への強い決意を示すものであり、今後も先駆的な建設技術の展開を推し進めて行く。

2）取組み状況

2.）取組状況

事業部ソーラーパネルシステム

ソーラーパネルモニター

ソーラーパネルモニター

自社環境訓練状況（月１回）

過積載自主計測状況

社内利用紙状況

資源回収ボックス

2）取組み状況

取組状況

社内エアコン温度設定の周知

社内エアコン温度設定の周知

エコキャップ運動

地域ボランティア参加

地域ボランティア参加

災害復旧状況

７．【 環境経営計画と評価 】　令和6年9月～令和7年8月

項目	活動内容	担当部署	担当者	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月	4月	5月	6月	7月	8月	
電気使用量の削減	①不要な照明、未使用箇所の消灯。	全部署	全員	←随時→						中間評価	←随時→						全体評価
	②室内温度の設定（冷暖房の適正温度）	全部署	全員	←エアコン運転時→							←エアコン運転時→						
	③0A機器の未使用時の電源OFF	全部署	全員	←随時→							←随時→						
	④ドアの開けっ放し禁止。	全部署	全員	←随時→							←随時→						
燃料使用量の削減	①過積載、無駄アイドリングの防止、エコドライブ	全部署	全員	←各現場含む随時→						中間評価	←各現場含む随時→						全体評価
	②車両、重機買換え時は低公害車を考慮する。	全部署	全員	←買換時→							←買換時→						
	③急加速、急発進の禁止。	全部署	全員	←各現場含む随時→							←各現場含む随時→						
	④定期的な車両整備の実施。	全部署	全員	←各現場含む随時→							←各現場含む随時→						
	⑤重機械のｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟ手順を定め実施する。	各作業所	各現場担当者	←各現場施工期間中→							←各現場施工期間中→						
	⑥重機械のｱｸｾﾙを80%以下に設定する。	各作業所	各現場担当者	←各現場施工期間中→							←各現場施工期間中→						
廃棄物排出量の削減	①コピー用紙の裏面使用	全部署	全員	←現場事務所も含む→						中間評価	←現場事務所も含む→						全体評価
	②事務用品はグリーン購入の推進、実施。	全部署	全員	←現場事務所も含む→							←現場事務所も含む→						
	③一般廃棄物は、分別を徹底する。	全部署	全員	←各現場含む随時→							←各現場含む随時→						
	④産業廃棄物の適正処理を確認する。（現場)ﾏﾆﾌｪｽﾄの管理集計	各作業所	各現場担当者	←各現場施工期間中→							←各現場施工期間中→						
	⑤極力、産廃ボックスを使用しない（資材納入業者の持帰り）	各作業所	各現場担当者	←各現場施工期間中→							←各現場施工期間中→						
	⑥資材、部材等のロス率及び再生資源材料の使用を向上を心がける。	各作業所	各現場担当者	←各現場施工期間中→							←各現場施工期間中→						
水資源の保護と節水	①社内の洗剤は環境に優しい物の購入に心掛ける。	全部署	全員	←随時→						中間評価	←随時→						全体評価
	②社内では節水表示をする。	全部署	全員	←随時→							←随時→						
	③社内及び建設現場での水質汚染の防止	全部署	全員	←随時→							←随時→						
	④建設現場での汚濁水流出の防止	各作業所	各現場担当者	←各現場施工期間中→							←各現場施工期間中→						
環境教育	①進行状況及び見直しの実施。	全部署	全員	←毎月社内安全協議会時→毎月10日						中間評価	←毎月社内安全協議会時→毎月10日						全体評価
	②問題点の発見及び、是正予防処置。	全部署	全員	←毎月社内安全協議会時→毎月10日							←毎月社内安全協議会時→毎月10日						
	③緊急事態への準備及び対応。	各作業所	各現場担当者	←各現場施工期間中→							←各現場施工期間中→						
	④排出ガス対策型機械の使用の促進	各作業所	各現場担当者	←施工計画提案時→							←各現場施工期間中→						
	⑤超低騒音、超低振動、低燃費機械器具の採用	各作業所	各現場担当者	←施工計画提案時→							←各現場施工期間中→						
	⑥建設資材のグリーン製品の購入の推進	各作業所	各現場担当者	←施工計画提案時→							←各現場施工期間中→						

上記項目の内容を充実するとともに、定期的に環境管理責任者を中心に内容の見直しを協議し、
合意した改善内容を、全社員及び協力会社に浸透させていく。

アースシフトの評価と2社の次年度の取組み内

令和7年9月～令和8年8月

項目	活動内容	担当部署	担当者	評価	9月	10月	11月	12月	1月	2月	中間評価	3月	4月	5月	6月	7月	8月	全体評価
電気使用量の削減	①不要な照明、未使用箇所の消灯。	全部署	全員	○	←随時→							←随時→						
	②室内温度の設定（冷暖房の適正温度）	全部署	全員	○	←エアコン運転時→							←エアコン運転時→						
	③OA機器の未使用時の電源OFF	全部署	全員	○	←随時→							←随時→						
	④ドアの開けっ放し禁止。	全部署	全員	○	←随時→							←随時→						
燃料使用量の削減	①過積載、無駄アイドリングの防止、エコドライブ	全部署	全員	○	←各現場含む随時→							←各現場含む随時→						
	②車両、重機買換え時は低公害車を考慮する。	全部署	全員	○	←買換時→							←買換時→						
	③急加速、急発進の禁止。	全部署	全員	○	←各現場含む随時→							←各現場含む随時→						
	④定期的な車両整備の実施。	全部署	全員	○	←各現場含む随時→							←各現場含む随時→						
	⑤重機械のｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟ手順を定め実施する。	各作業所	各現場担当者	○	←各現場施工期間中→							←各現場施工期間中→						
	⑥重機械のｱｸｾﾙを80%以下に設定する。	各作業所	各現場担当者	○	←各現場施工期間中→							←各現場施工期間中→						
廃棄物排出量の削減	①コピー用紙の裏面使用	全部署	全員	○	←現場事務所も含む→							←現場事務所も含む→						
	②事務用品はグリーン購入の推進、実施。	全部署	全員	○	←現場事務所も含む→							←現場事務所も含む→						
	③一般廃棄物は、分別を徹底する。	全部署	全員	○	←各現場含む随時→							←各現場含む随時→						
	④産業廃棄物の適正処理を確認する。（現場）ﾏﾆﾌｪｽﾄの管理集計	各作業所	各現場担当者	○	←各現場施工期間中→							←各現場施工期間中→						
	⑤極力、産廃ボックスを使用しない（資材納入業者の持帰り）	各作業所	各現場担当者	○	←各現場施工期間中→							←各現場施工期間中→						
	⑥資材、部材等のロス率及び再生資源材料の使用を向上を心がける。	各作業所	各現場担当者	○	←各現場施工期間中→							←各現場施工期間中→						
水資源の保護と節水	①社内の洗剤は環境に優しい物の購入に心掛ける。	全部署	全員	○	←随時→							←随時→						
	②社内では節水表示をする。	全部署	全員	○	←随時→							←随時→						
	③社内及び建設現場での水質汚染の防止	全部署	全員	○	←随時→							←随時→						
	④建設現場での汚濁水流出の防止	各作業所	各現場担当者	○	←各現場施工期間中→							←各現場施工期間中→						
環境教育	①進行状況及び見直しの実施。	全部署	全員	○	←毎月社内安全協議会時 毎月10日→							←毎月社内安全協議会時 毎月10日→						
	②問題点の発見及び、是正予防処置。	全部署	全員	○	←毎月社内安全協議会時 毎月10日→							←毎月社内安全協議会時 毎月10日→						
	③緊急事態への準備及び対応。	各作業所	各現場担当者	○	←各現場施工期間中→							←各現場施工期間中→						
	④排出ガス対策型機械の使用の促進	各作業所	各現場担当者	○	←施工計画提案時→							←各現場施工期間中→						
	⑤超低騒音、超低振動、低燃費機械器具の採用	各作業所	各現場担当者	○	←施工計画提案時→							←各現場施工期間中→						
	⑥建設資材のグリーン製品の購入の推進	各作業所	各現場担当者	○	←施工計画提案時→							←各現場施工期間中→						

上記項目の内容を充実するとともに、定期的に環境管理責任者を中心に内容の見直しを協議し、
合意した改善内容を、全社員及び協力会社に浸透させていく。

環境経営目標の実績

2024年度実績（2024年9月～2025年8月）

作成　　2025年10月15日
作成者　　鈴木　裕生
承認者　　志賀　明

環境経営方針	取組項目	2020年度基準値	2024年目標	2024年度実績	目標達成状況
二酸化炭素排出量の削減	1　電力使用量の削減	3,712kWh	3675kWh	10114.81	×
	2　ガソリン使用量の削減	5,505ℓ	削減活動継続	8,956ℓ	×
	3　軽油使用量の削減	45.15ℓ/売上高（100万）	削減活動継続	3.32ℓ/売上高（100万）	○
	4　二酸化炭素排出量削減	193Kg-CO2/売上高（100万）	削減活動継続	218.18Kg-CO2/売上高（100万）	×
廃棄物の削減	5　ＯＡ用紙使用削減	63.9枚/売上高（100万）	63.3枚/売上高（100万）	142.12枚/売上高（100万）	×
	5　廃棄物の削減	2,696Kg/売上高（100万）	2696Kg/売上高（100万）	2896.49Kg/売上高（100万）	○
	6　建設リサイクル率の向上	100%	100%	100%	○
環境に優しい施工	7　グリーン購入推進	100%	100%	100%	○
	8　グリーン調達推進	100%	100%	100%	○
	9　　創意工夫	8個	13個	13個	○
水使用量の削減	10　水使用量の削減	37m3	維持管理	－	○
ガス使用量の削減	11　ガス使用量の削減	63m3	62.4m3	－	○
作業ロス件数の削除	12　作業の手戻り・作業ロスの削減	9件	7件	2件	○

○目標達成　　△目標未達成但し基準年比減　　×目標未達成

- 基準年度（2020年7月～2021年6月）
- 二酸化炭素排出係数は、2022年東京度電力（株）の調整後排出係数0.376kg-ＣＯ2/kWhを使用。
- 会社体制変化により、活動内容にも大きな変化があり、従来の活動目標とは乖離している。
  活動内容の精査目標の再設定を行い次年度に反映する。
- ２、３、４は工事の種類及び外注の有無により売上げ等に比例しないので削減活動はするが目標値化しない。

環境経営活動計画・取組結果と評価

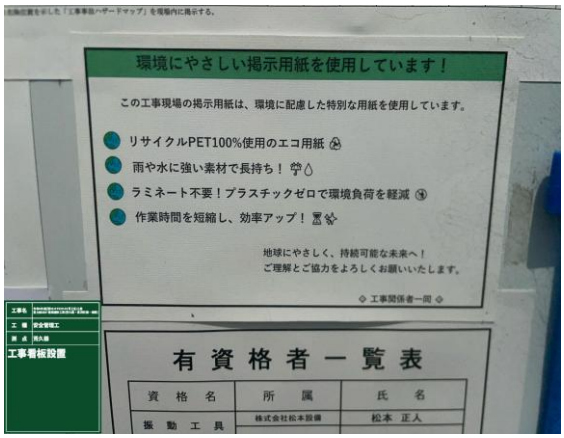
1	電気使用量の削減 （CO2の削減） ＊　空調温度の適正化　冬季20℃ 夏季27℃ ＊　事務所照明のこまめな消灯 ＊　使用していないパソコンの画面を消す	×	**事務所の移転により、エアコンの使用量が** 夏は約2倍、冬は約3.5倍に増加しました。 石油ファンヒーターが使えず、電気のみで 暖房をまかなっていることが主な要因です。
2	燃料使用量の削減 （CO2の削減） ＊エコドライブの徹底 ＊アイドリングストップ ＊計画的に移動 ＊車内の控えめな空調管理 ＊月1回の車両点検	○	**全車両を新しくし燃費は向上したが、** 通勤や全国への営業活動が加わったことで 燃料使用量が増加。エコ活動は継続中。
3	廃棄物の削減 産業廃棄物 ＊廃棄物再生利用率の向上 一般廃棄物 ＊単純焼却の削減	×	**コピー用紙の使用量は昨年度の7,300枚から** **16,666枚へと、2倍以上に増加。** **現場の原価管理や発注者提出書類の** 増加に加え、書類ミスによる再印刷が要因です。
4	建設リサイクル率の向上 ＊発生の抑制 ＊再利用の促進 ＊適正処分の徹底	○	電子マニフェストを発行して 適正処分の徹底。
5	グリーン購入 ＊ラベルにより購入する	○	グリーンマークを意識して購入した結果、身近な 多数の商品が対象になっていることを知った。 これからも意識して調達していきたい。
6	グリーン調達 ＊仕様書により再生品の調達	○	官庁の仕事を主としているため 官庁の指示に従いグリーン調達を 行っている。
	環境に優しい施工 ＊環境に優しい工事の実施 ＊地域住民への事前説明 ＊地域貢献創意工夫推進 ＊協力企業への教育実施	○	**地域貢献として、工事地域の祭り前に** **会場の草刈りなどを実施。** 工事開始前に影響のあるお宅へ 伺い事前説明を行った。
7	水資源利用料の削減 ＊水道の蛇口をこまめに止める ＊節水ポスターの設置	○	**水道はビル一括管理のため数値での** 把握はできませんが、日常的に節水を 心掛けて取り組みました。
8	ガス使用料の削減 ＊　空調温度の適正化　冬季20℃ ＊　効率的な空調管理	－	**ガスを使用する設備がなくなったため、** 以後は活動内容および目標の対象外とします。
9	作業ロス件数の削減 ＊測量ミスによる作業の手戻り ＊伝達ミスによる作業ロス等	×	**2件とも大きな作業ロスとなったため、** 同様のミスを防ぐべく社内で 再発防止に向けた協議を実施しました。

令和6年度追加創意工夫・イメージアップ

・ 社長を筆頭に全社員でアダプトロード
プログラムへ参加
毎年3月と7月の年2回、旧事務所近くの
県道沿い歩道約100メートルの区間で
草取りを行っております。

・ 公園の草刈り及び清掃
工事をさせていただいている地区で
お祭りがあり、会場となる公園の
清掃を実施しました。

・ 環境に優しいシートの活用
NETIS番号：KT230137-A
現場掲示物の雨対策として普通紙印刷の上
ラミネート加工を施しておりましたが
このリサイクルPET100%使用のエコ用紙は
ラミネート不要で時間の短縮及び
分解・分別が容易で廃棄時の環境負荷を
軽減できます。



９．　【環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、違反・訴訟等の有無】

(株)アースシフト　　確認者:牧野

１）令和6年9月から令和7年8月までの遵守状況の確認及び評価の結果　　最終確認日令和7年8月31日

	法規・条例・規制	適用範囲・要求事項・責務	実施事項	文書・記録	遵守状況
事業者全般として遵守する事項	環境基本法	・事業活動に伴う公害の防止、自然環境を適切に保全する措置 ・廃棄物の適正処理 ・再生資源の等の利用 ・国、地方自治体り施策に協力	・エコアクション21への取り組み	再生資源利用促進計画書	○
	循環型社会形成推進基本法	・廃棄物の発生抑制、適正処分 ・資源の循環的利用・再生品の使用 ・国、地方自治体の施策に協力	・エコアクション21への取り組み ・3Rの推進		○
	地球温暖化対策推進法	・温質効果ガス抑制措置・国、地方自治体が実施する温 室効果ガス排出の抑制等の施策に協力	・エコアクション21への取り組み		○
	グリーン購入法	・物品購入等に際し、出来る限り環境物品等を選択	・再生品、エコマーク製品または同等 品を優先購入・新規、買換え購入時は、省エネ性能 の優れた製品に変更	納品書	○
	自動車リサイクル法	・使用済み自動車の廃棄	・使用済み自動車の引き取り業者への引き渡し ・リサイクル料の支払い	領収書	○
	家電リサイクル法	・特定家庭用機器テレビ、エアコン、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機、衣類乾燥機の廃棄	・小売店に料金を支払い引き渡す又は自治体指定の方法で処分の依頼をする	領収書	○
	PCリサイクル法	・使用済みのパソコン、モニターの廃棄	・メーカーへの回収依頼、契約 ・輸送伝票とともに回収業者へ引き渡し ・回収、リサイクル料の支払い		○
廃棄物処理　リサイクル	廃棄物処理法 （静岡県条例）	【事務系一般廃棄物】 事務所等からの廃棄物(可燃ごみ、紙類、ビン、カン、粗大ごみ等)	・再利用により削減 ・分別し搬出(ﾘｻｲｸﾙ化)		○
		【産業廃棄物】 汚泥、廃油、廃ﾌﾟﾗ、建設木くず、金属くず、ガラスくず、建設廃材、ゴムくず、コンクリート片等	委託契約 1,委託先の許可確認 2.委託契約の締結マニフェストの交付・管理（電子マニフェスト　可） 3.年間交付状況の報告（6月） 4.委託処理先の現地確認(年1回) 5.産廃保管場所の掲示、管理 6.多量排出事業者になった場合は届出書を提出する。	・委託契約書(5年間保存) ・ﾏﾆﾌｪｽﾄ（5年間保管) ・工事毎に実施	○
		【特別管理産業廃棄物】 廃石綿、PCB等自治体による上乗せ基準	知事・市長へ届出(届け出期間、様式は条例等で規定)	・事業所設置届出 ・特管物管理者届出・特管物排出報告	該当無し
	建設リサイクル法	【工事規模】 解体工事80㎡2以上、新築・増改築工事500㎡2以上、修繕・模様替え工事1億円以上、その他のｴ作物に関する工事(土木工事等)5百万円以上 【特定建設資材】 コンクリート(ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ版を含む)、木材、ｱｽﾌｧﾙﾄｺﾝｸﾘｰﾄ	・発注者への書面による計画等説明 ・工事着手の7日前までに必要事項を知事に届け出 ・発注者へ書面による完了報告 ・分別解体等一再資源化等の促進 ・再生資源の使用	・発注者への計画等説明書と完了報告書・下請負者への告知書 ・知事への届出書(条例規定)	○

	法規・条例・規制	適用範囲・要求事項・責務	実施事項	文書・記録	遵守状況
廃棄物処理　リサイクル	再生資源利用省令	【再生資源利用計画の作成】 ・体積が1000m3以上である土砂 ・重量が5ootである砕石 ・重量が200t以上である加熱アスファルト混合物	指定建設資材と再生資源の利用量の把握等による計画の作成と実施記録の保存(1年間)	再生資源利用促進計画書	○
	指定副産物利用促進省令	【再生資源利用促進計画の作成】 ・体積が1000m3以上である建設発生土 ・重量が200t以上である]ﾝｸﾘｰﾄ塊、ｱｽﾌｧﾙﾄ塊、建設発生木材	指定副産物に係る搬出量と再資源化施設への搬出量等計画の作成	再生資源利用促進計画書	○
	建設副産物適正処理推進要綱	建設発生土、建設副産物	・発注者との連絡調整・管理及び施工体制の整備、協力業者の指導等・『再生資源利用計画』『再資源利用促進計画』の作成・施状況の記録を1年間保管	『再生資源利用計画』『再生資源利用促進計画』の作成・実施状況の記録	○
	建設汚泥の再生利用に関するガイドライン等	建設汚泥を建設資材として利用する場合、土壌の汚染に係る環境基準に適合しない物は除外する	利用にあたって、適切な調作・設計・施工及び管理を行う　ﾘｻｲｸﾙの結果を確認し、記録を保管	『建設汚泥のエ事間に関する確認書』『建設汚泥再生利用計画書』『建設汚泥リサイクル伝票』『建設汚泥再生資源化等実績報告書』	○
	廃PCB処理法	廃PCBの保管及び処理 改修工事、解体工事 所有者が保管及び処理を行う	毎年度、6月30日までに、保管・処理の状況を届出	保管等の届出 (規則様式第1号)	該当無し
	フロン排出抑制法	全ての第一種特定製品 設備廃棄時は回収破壊業者に委託	四半期に一回以上(簡易点検)	点検シート記録。	○
大気汚染	排出ガス対策型建設機械普及促進規定及び粉塵対策	一般工事用(バックホウ、トラクタショベル、発動発電機等) ダンプ運搬時の粉塵対策	排出ガス対策型であることの確認 散水車利用による適時運行		○
騒音振動悪臭	騒音規制法　静岡県の騒音に関する規則(静岡県生活環境の保全等に関する条例施行規則)	・指定地域内での特定建設作業（杭打ち機、びょう打機、ブレーカー、舗装版破砕機、鋼球破壊を使用する作業)	・市町村長へ着手の7日前までに届出・作業敷地境界にて85db以下・市町村に基準値の事前確認	・特定建設作業実施届出書(規則様式第9、但し条例等上乗せ規定有)	○
	振動規制法静岡県の振動に関する規則(静岡県生活環境の保全等に関する条例施行規則)	・指定地域内での特定建設作業（杭打ち機、くい抜き機、ブレーカー、舗装版破砕機、鋼球破壊を使用する作業)	・市町村長へ着手の7日前まで　に届出・作業敷地境界にて75db以下・市町村に基準値の事前確認	・特定建設作業実施届出書(規則様式第9、但し条例等上乗せ規定有)	○
	悪臭防止法静岡県の悪臭に関する規則(静岡県生活環境の保全等に関する条例施行規則	規制指定地域内で悪臭物質を排出する事業場	規制対象物質の把握と規制基 準値の遵守施設設置30日以前に届出	・特定施設設置届出書　変更届出書等	○
水質汚濁					
	水質汚濁防止法	汚水を発生させる事業所からの公共用水域への排出規制	・上下水道の適正使用 ・河川工事等での適正施工	・漁協同意書	○
安全環境	化審法(PRTR法) 労働安全衛生法 労働安全衛生規則	特定化学物質の適正管理 ・酸素欠乏症等の防止 ・有機溶剤中毒の防止	・委託業者(塗装薬等)での使用実績を適正管理・坑内作業、屋内作業等において適切な換気等による作業員の危険回避処置・作業主任者の設置・作業環境の測定	・委託業者の使用実績報告把握・管理(SDSより把握)・測定結果票を3年間保存	該当無し

2)　違反、訴訟等の有無

上記環境関連法規及び条例について令和6年8月31日に確認した結果、違反はありませんでした。
また、過去3年間においての関係機関からの指摘・訴訟・地域住民からの苦情はありません。

令和7年　10月　30日　　環境管理責任者　　牧野　一次

環境関連法規等の遵守の確認・評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

BELL SHIFT

・当社に適用される主な環境関連法規は以下の通りです。
・環境関連法規への違反・訴訟等はありませんでした。
　なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありませんでした。
・苦情はありませんでした。　　令和7年9月1日　確認者:鈴木　敏也

適用される法規制	適用内容	該当項目 設備・工事・作業	法律の主な要求事項	遵守状況の確認
廃棄物処理法	一般廃棄物処分	一般廃棄物	廃棄物の削減廃棄物の適正処理の確保	ＥＡ21取り組み実施
	産業廃棄物運搬処分	建設副産物（廃棄）	運搬・処分委託業者との契約書取り交わし、有効期限等の確認	電子マニフェスト
建設 リサイクル法	特定建設資材の分別・ 解体及び再資源化の 促進等	新設工事 解体工事	分別解体等の届出・通知 特定建設資材の再使用・ 再資源化の促進	適正に処理
自動車 リサイクル法	廃車時登録業者へ引渡し 購入時リサイクル 料支払い	社用車	リサイクル料の支払い	該当なし
家電 リサイクル法	家庭電化製品の資源 有効使用促進	冷蔵庫・テレビ 家庭用エアコン	リサイクル料の支払い	該当なし
フロン 排出抑制法	第一種特定製品 廃棄時に適切に管理 点検、記録、漏えい報告	該当なし	第一種特定製品の点検 記録　漏えい報告 適正処分	該当なし

１０．【代表者による全体評価と見直し・指示】

		項　　目	確認	必要に応じて評価・コメント記載
見直し関連情報	1	エコアクション２１文書	☑	今回、EA21 2017年版で作成されている。
	2	環境目標及び目標達成状況	☑	目標を再設定した為、評価に関する記載は無しとする。
	3	環境活動計画及び取組み状況	☑	建設現場の中で、取組み現場の差を無くしたい。
	4	環境関連法要求一覧及び遵守状況	☑	法律､規制等該当するものについては、全て遵守している。
	5	外部コミュニケーション･対応記録	☑	外部からの苦情等の対応は、直ぐに是正している。
	6	問題点の是正･予防処置の実施状況	☑	燃料節約の為、無駄な運行を減らす事を強化する。
	7	取引先等その他の外部機関	☑	当会社の環境関連の取組み説明を積極的に展開したい。
	8	建設現場における環境関連の工夫	☑	月一回の建設部会議で情報交換を密にしたい。

代表者による評価 見直し	全体評価・コメント	今年は弊社設立40周年の節目の年であった。 目標を再設定した為、比較の評価は出来ないが、エコアクションや様々な活動を通じて弊社の更なる飛躍に努めたい。 BELLSHIFTにおいても事務所移転に伴い比較が困難な項目もあった為、来年度からの評価結果に期待したい。		
		見直し項目	変更の必要性	『有』の場合の指示事項
	1	環境方針	無	
	2	環境目標･計画	無	
	3	環境活動計画･取組項目	無	
	4	環境組織(実施体制を含む)	無	
	5	システム要素	無	
	6	その他	無	

令和7年10月30日

株式会社　アースシフト

代表取締役

近藤　隆智